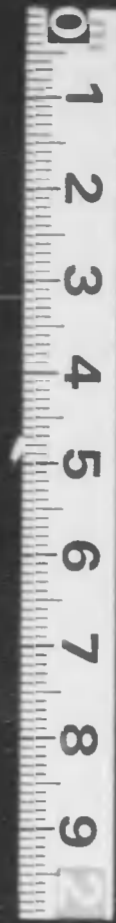


週寫眞  
報

情 報 局 編 輯  
十一月十一日 第四百六十六號





天皇 皇后兩陛下  
第十三回明治神宮  
國民鍊成大會に行  
幸行啓遊ばさる

第十三回明治神宮國民鍊成大會  
は三笠總武宮殿下御統率の下に十  
月二十九日から六日間、明治神宮  
外苑競技場を中心に行き、全  
國の代表選手をはじめ満洲、中華  
民國、蒙古、南洋から馳せ参じた  
總勢二万七千名が必勝の戦ひを戦  
ひ抜く氣魄を示しつゝ豪華な健民  
船巻を繰りひろげた

段くも 天皇 皇后兩陛下には  
大東亞戦争下、國民鍊成を御獎勵  
の思召から大會第五日の十一月二  
日、明治神宮に御参拜の御後、外  
苑競技場に行幸行啓遊ばされ、最  
高潮に達した演練を親しく天覽な  
らびに台覽あらせられた  
また皇太子殿下にも大會第二日  
の十月三十日、競技場に台臨、少  
國民の奮闘たる體操を御興深げに  
台覽遊ばされた

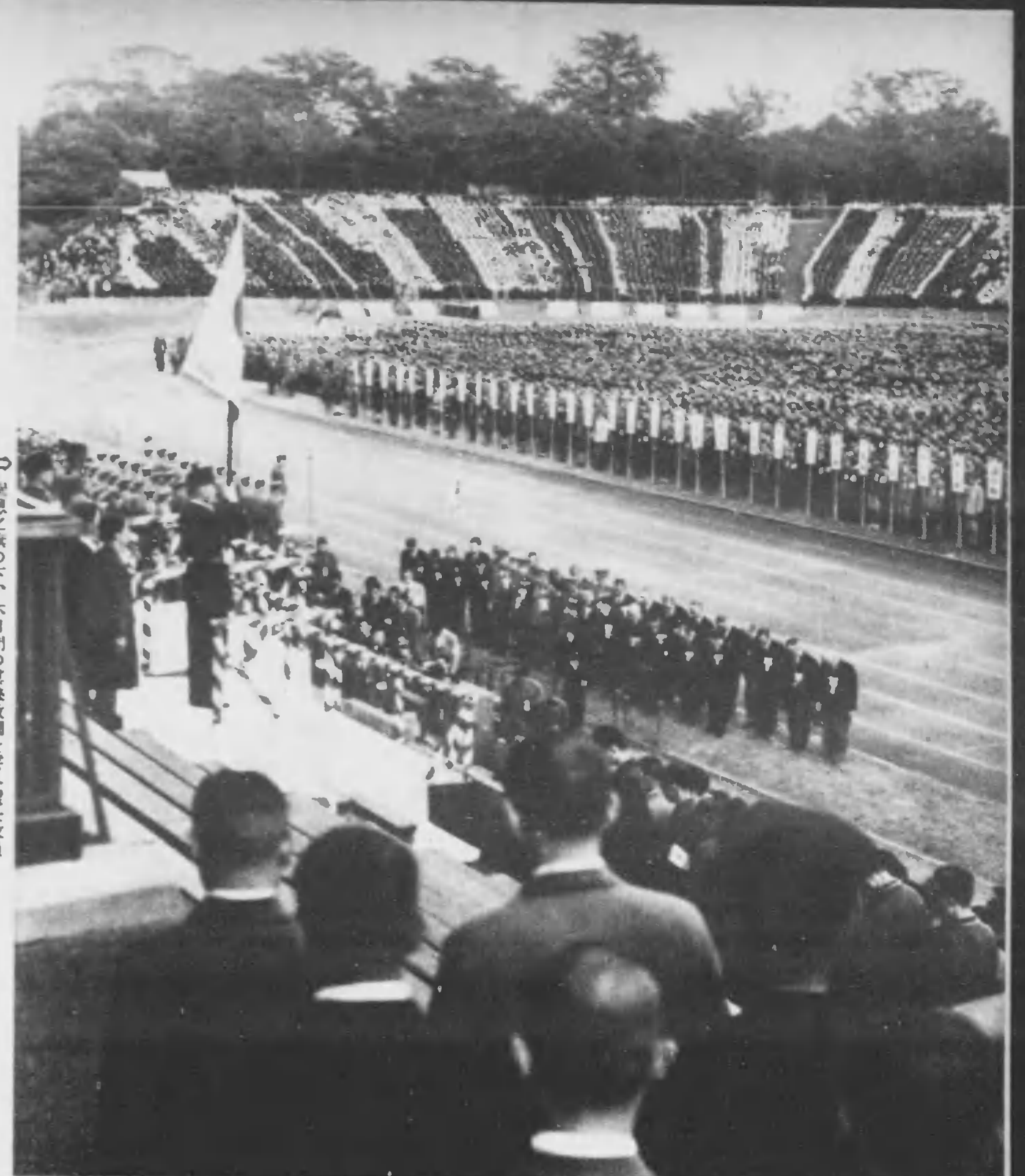
# 億一 健民の熱戦譜



エイ、オーの掛けいさましく、柔道は観衆の喝采をうけず



聖徳天皇の下、六日間の演藝取組を誓ふ選手役員  
観衆席も一役買つて盛衰の勇士を中心に更生機投た



4レーの進軍もさかたばかり自轉車訓練の激戦はつづく  
案へに敵へたこの身、各隊代表女子四百メートル運搬競争の力闘

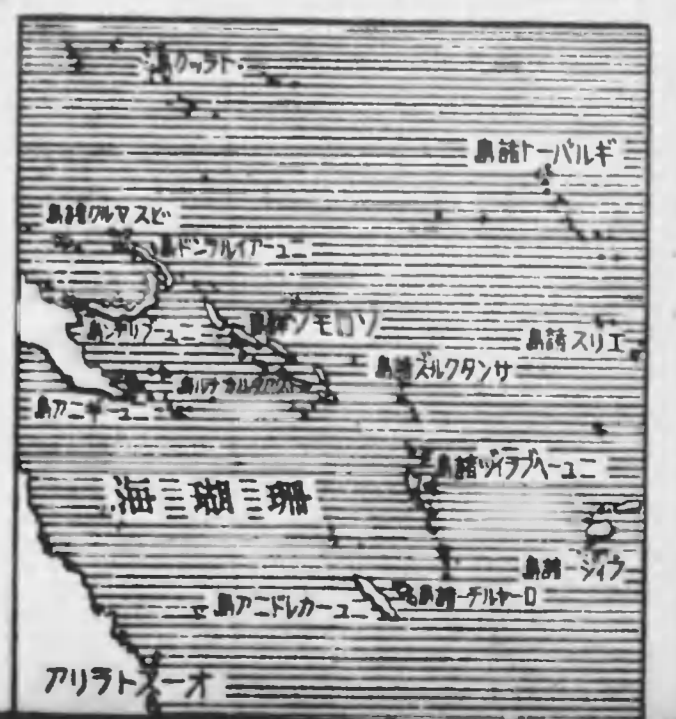
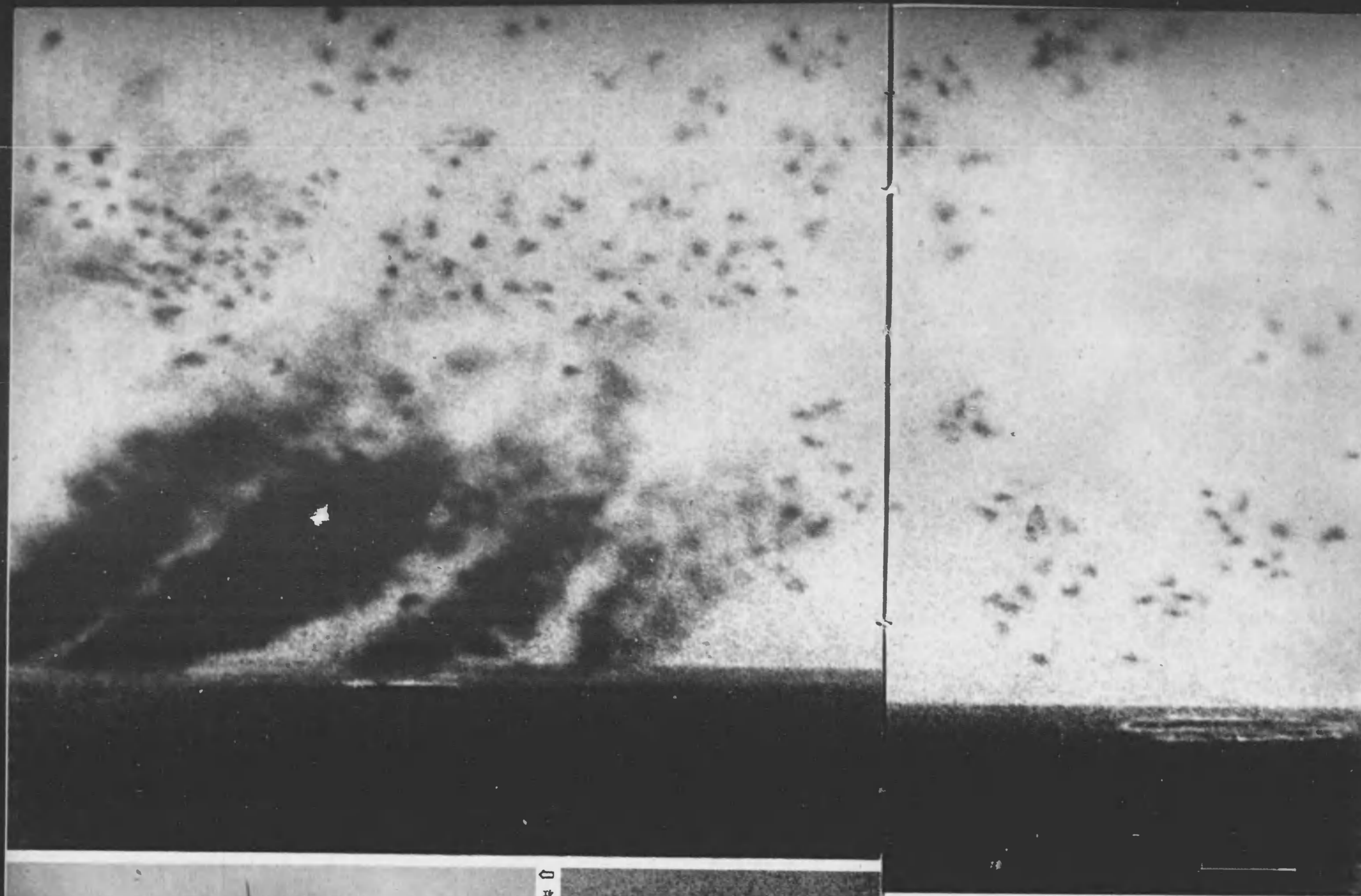


# 敵艦隊を反撃、 滅撃

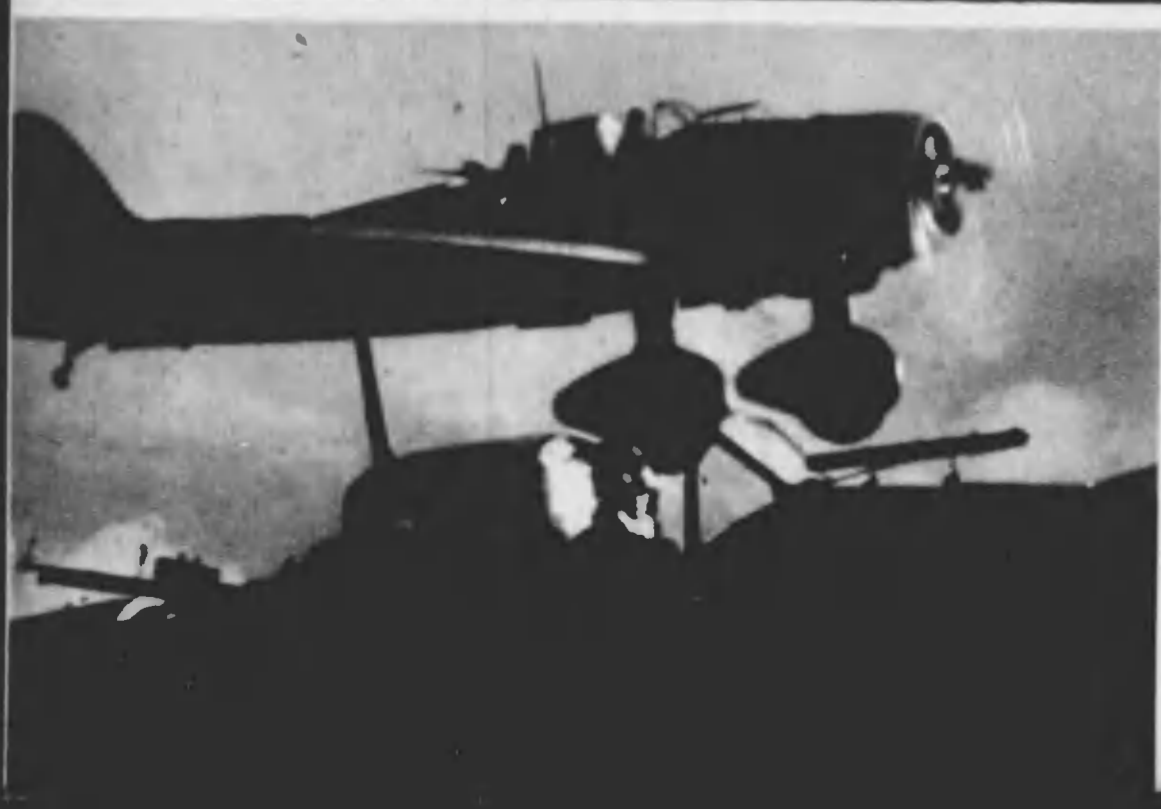
## 域海ソモロン

帝國海軍は、またも南太平洋海戦に大戦果（九頁の大東亞戦争日誌参照）を挙げ、無限の實力を全世界に示した。ソロモン群島東方洋上で惨敗を喫した敵アメリカ海軍は、その後、同方面の情勢に對慮するために航空母艦、戦艦の大群を主力とする大艦隊を以てソロモン群島東方サンタクルーズ諸島北方洋上に出撃してきた。一方、第二次ソロモン海戦から引続き敵艦隊に徹底的な打撃を與へた帝國海軍は、勝つて驕らず、同海周邊に反撃してくるであらう敵艦隊に備へ、撃滅を期して南太平洋全球にわたつて鐵壁の陣を布いてゐた。果せるかな帝國海軍は、反撃の舉に出でた敵主力艦隊をサンタクルーズ諸島北方洋上に捕捉して一大殲滅戦を展開し、敵空母四隻、戦艦二隻を撃沈する偉勳を樹てた。更に加へて帝國海軍は第二次ソロモン海戦以後、南太平洋海戦直前までの二ヶ月間においてソロモン群島方面で敵米空母ワスプ以下三十隻を撃破、飛行機五百十九機以上を撃破した驚異的な戦果を挙げた。敵反撃の企圖を粉砕し、敵艦隊主力を殲滅したわが方は、これによつて南太平洋方面の制海權を總り同方面に確保する帝國勢力の進出をはかつたものといふことができよう。しかしながら、この大戦果の陰には、大本營の發表にもあつたやうに、わが方にも貴い犠牲があつた。われわれは、あくまでも戦果に酔ふことなく、最後の五分間まで戦ひ続け決意を新たにするとともに、辛苦の作戦を續けてゐる海軍部隊の勞苦を忘れることはできない。眞實は第二次ソロモン海戦における彼我激闘の最中に海軍勇士が猛烈な敵の砲火を門して撮影したものである。

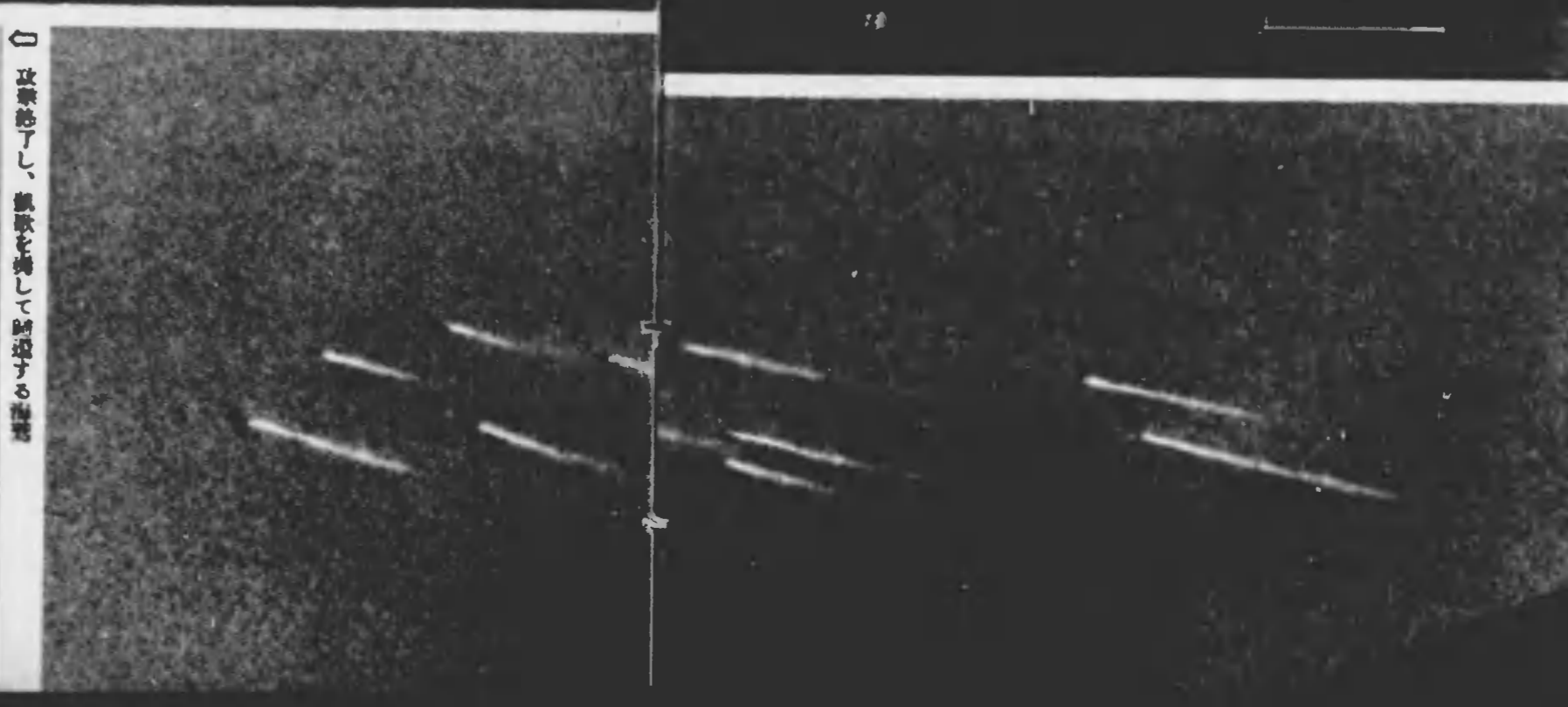
大艦隊は決してソロモン海に黒煙を擧げて其上する敵空母 空中の黒煙は敵の防禦砲火、右海上の白浪は砲撃を損じた敵艦の沈没、間もなく沈没した



わが海軍に発見された敵艦隊主力は全道力で陣型を壊へんとし



攻撃終了し、旗歌を奏して前進する海軍





早くも白雪に覆はれた山西戦線を愛馬と共に征く皇軍勇士

# 初雪を踏みしめ 山西戦線を征く

撮影 北支軍司令部  
〇 寒気の泥濘を疾駆して、急進また急進



大東亞戦の完遂には、どうしても全力をあげて支那問題を處理しなければならぬ。また、支那問題の處理には、まづ重慶政権を打倒とする無理難題な抗日陣営を武力を以て徹底的に撃滅することが肝腎である。

大東亞戦の完遂には、どうしても全力をあげて支那問題を處理しなければならぬ。また、支那問題の處理には、まづ重慶政権を打倒とする無理難題な抗日陣営を武力を以て徹底的に撃滅することが肝腎である。

〇 皇軍の占領によって明朗化した雲南



## 大東亞戦争日誌

十一月一日

二十六日 ●帝國陸軍航空部隊は十月二十五日午後インド東部における敵の航空基地テンスキアおよびチッタゴンを襲撃。本攻撃において敵機四(うち不降實一)を撃墜し、地上にありし敵機三十九以上(うち大型機十八)を炎上もしくは破壊。わが方の損害一機。

二十七日 ●帝國艦隊は十月二十六日黎明より夜間にわたりサンタクルーア諸島北方洋上において敵有力艦隊と交戦、敵航空母艦四隻、戦艦一隻、艦型未詳一隻を撃沈、戦艦一隻、巡洋艦三隻、驅逐艦一隻を中破し、敵機二百機以上を撃墜その他により喪失せしむ。

わが方の損害、航空母艦一隻、巡洋艦一隻小破せるもいづれも、戦闘航海上支障なし、未歸還機四十機。

(註) 本海戦を南太平洋戦と呼稱

●第二次ソロモン海戦以後、南太平洋海戦まで、即ち八月二十五日より十月二十五日に至る間におけるソロモン群島方面の帝國海軍部隊の戦果

(一) 艦船 駆逐艦五隻、潜水艦六隻、輸送艦六隻、掃海艦一隻、大破、戦艦一隻、航空母艦一隻、巡洋艦一隻、潜水艦一隻、輸送艦二隻、掃海艦一隻、中破、航空母艦一隻

(二) 飛行機 撃墜四百三十三機、地上撃破九十七機、その他敵機十七型大型爆撃機十九機に對し大なる損害を與ふ。

わが方の損害 (一) 艦船 沈没、巡洋艦二隻、驅逐艦二隻、潜水艦一隻、輸送艦二隻、大破、驅逐艦一隻、輸送艦二隻、中破、巡洋艦一隻、驅逐艦二隻、潜水艦一隻、輸送艦二隻 (二) 飛行機 自爆機十六機、大破三十一機、未歸還七十八機

# 燃料節約をせよ

十一月十六日 二十一日燃料週刊

燃料は戦争遂行の原動力です。燃料の供給が不十分では工場の生産率は忽ち低下し、米英相手の生産戦に負けをとつてしまふてせう。一塊の石炭、一片の木炭が、競争に果す役割は非常に大きいのです。

間近かな冬を控へて、家庭燃料の消費が急増する時期がきました。だが、この際私たちは家庭の消費をできるだけ節約し、また使用の合理化をはかつて、この大切な燃料をできるだけ多く、時局柄最も必要な軍需や、重要産業方面に廻さうてはありませんか。石炭、木炭、薪、いづれも生産地では採産に必死の活躍を續けています。輸送陣も一生懸命です。私たちも、この意気込みを切實に家庭生活の中に浸透させ不足を忍び、いや、さらに創意を凝らし、工夫を加へて、今年の冬を戦ひ抜きたいと思ひます。

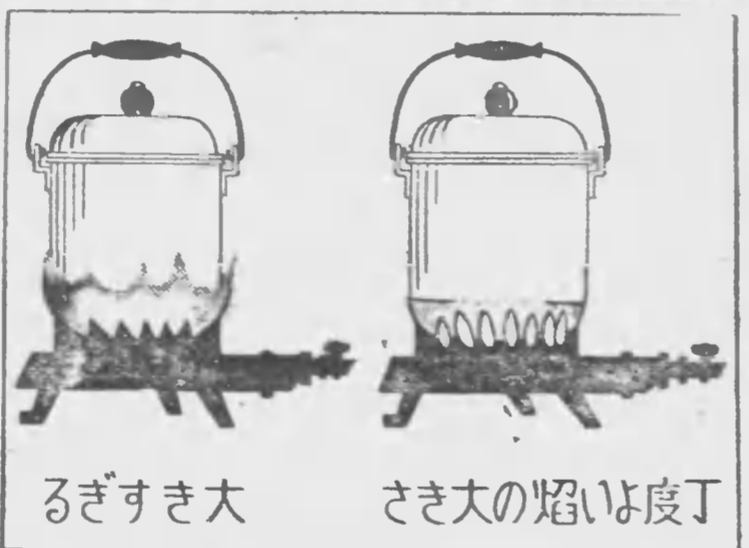
## 正しい使い方



ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。また、ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。

ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。また、ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。

ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。また、ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。

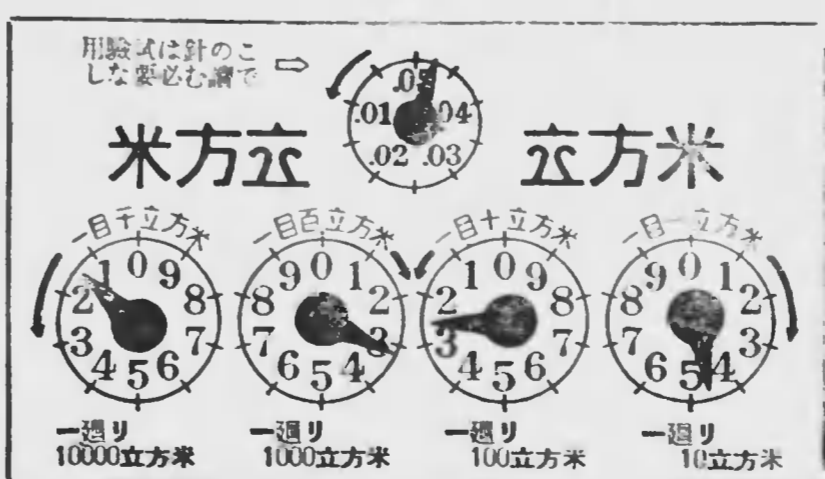


ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。また、ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。



ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。また、ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。

ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。また、ガス機器の設置は、必ず取扱説明書をよく読んでおこなう。



メーターの読み方  
文字は、四つ並んである場合は、左から千位、百位、十位、一位と読んでください。計器の数字の中間を指してあるときは、その数字の中間の数字を「0.5」として読みます。また、計器の数字の中間を指してあるときは、その数字の中間の数字を「0.5」として読みます。

# 山では増産に必死です

岐阜県

燃料を節約させよう



一釜、一釜と月に六百俵の成績をあげる釜元班の活躍



信濃の山に薪炭を運ぶ出立の姿、一人一人が必死の努力をこらしている



焼けた炭は秤にかけて俵につめる。なか／＼と炭たき

炭を焼くことは生きざしなことではない。とへ開墾などで手をつけたとしても、炭材の全国的不足は、労働や輸送力の不足と増産が農山村の重大な仕事となつたのに鑑み、同校は開墾地の木株を炭材としたらと、初め試験的に行つたのが、努力の甲斐あつた。今では月に五、六百俵の木炭供出をする。木炭供出に好成績をあげてゐる。木炭をきょうになり、木炭増産への真摯な努力を一般農家では餘り手をつげなかつた。た

撮影 橋本満貞



木炭の増産だ！掘れ、掘れ、木株を...



炭料を節約させよう

海拔四千尺、標名の山頂に近い森林地帯の炭焼小屋に山と積まれた炭俵、この木炭を漕ぎ下しては、と山麓の室田高女の生徒二百名が、母校から往復七里の山道を木炭搬出の勤勞奉仕を行つてゐる。この日も四年生七十名が、吉田校長に引率されて山の炭焼小屋を

訪れての搬出奉仕。白シャツの肩の上に風呂敷やチヨッキを當て、一依づつ背負つて溪谷沿ひの道を、丸木桶を渡り川岩を踏んで歩く。幾度もく踏くが、踏みしめ、汗とともに搬出に凱歌をあげた

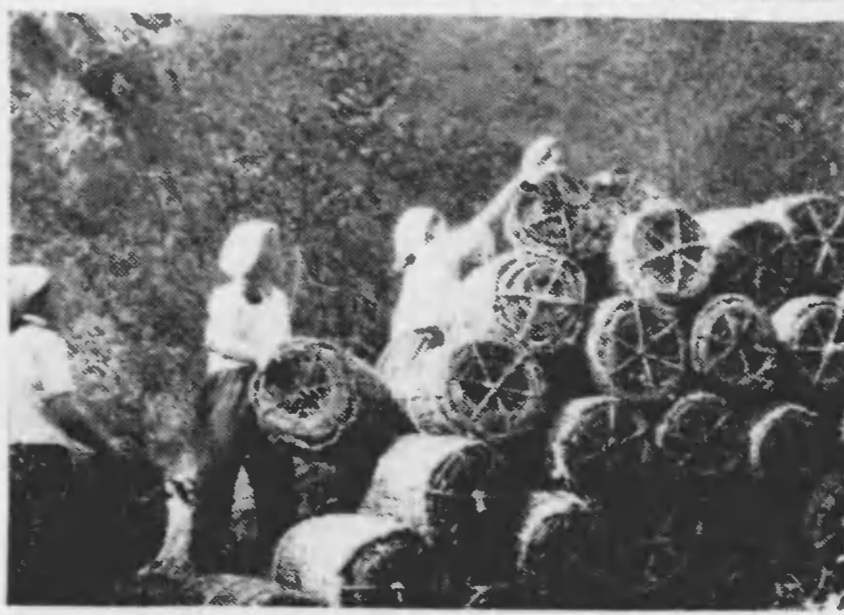
木炭が山を降る一俵々々女學生の肩にのつて



お前は貧しいが、一握を手にしてゐるお母さんの老夫婦の前で、笑ひ、乙女の運搬奉仕の喜びを話した。老夫婦の喜びまじいことだ。



木炭を俵に詰めるのもお手こり



一人が一俵の分擔だ。たまたま、お炭の山は崩れてゆく

# 輸送陣も懸命だ

— 群馬縣 —



お前さん、もうあつと上りて下さい。どうですこれにて







◁ 本物の兵隊さんと銃を並べて見る夢は、あゝもう戦車兵になつてゐる



◁ 見えるかい。ウソ見える。針車訓練に少國民。大ちはもう有頂天



◁ こいつが敵陣の真只中へバリ／＼と突込んでゆくんだ、けど凄いなア



◁ 薄々と富士山麓を駆り抜けて暴走する戦車の旅團。友やんも向ふの戦車に乗つてゐる。富士出身の戦車兵と膝を交へて語るたのしき。この様子は河のしるし

二百八号の豆戦車隊

# 杯一氣元 人若の亞東大



## 會大育體歡交生學外内回一第

秋晴れの全日本に今さかに繰りひろげられてゐる健民輪巻。その異色の一劇——内外學生交歓體育大會が東京目黒區の國際學生會運動場で催されました。

マレー、佛印、タイ、フィリピン、インドネシア等の南方諸地域民族の學生達からアフガニスタン、盟邦ドイツ等の留日學生まで約百五十名に東大、外語、青山學院、澁谷女子商業等の學生生徒も加はつて、各種競技に數回ぶりを展開和やかなるうちに眞剣な共榮團若人の意氣を示しました。

↑ 一語々々力をこめて、留日學生代表タイ國アールン・ブアンシレー君が敢闘宣言

↑ タイ語、マレー語、フィリピン等々と亂れ飛んで應援席の賑やかさ

↑ エンサ、エンサ綱引だ、僕らは東亞の兄弟だ力を合せて敢闘だ

↑ 綱引もお國自慢で、珍らしいタイ國の星十字綱引、一メートル先の旗が取れたら萬歳だ



⇒ ソレもう少しだぞ、煙草の點火競争だ。あせるタイ君や佛印君の口先で、湯巻煙草が邪徑にくるくると廻る

⇒ 風よ吹くな、一寸の間、ボクの提燈ともるまで





富良野新聞 昭和十七年十一月十日 第 五 四 二 二 號



本店名

東海銀行

内閣印刷局印刷發行

(内閣印刷局A4規格定規は33mm大の書本)